

不正なコピー印刷を防止できる印刷システム及びプリンタ
PRINT SYSTEM AND PRINTER CAPABLE OF PREVENTION OF UNJUST COPY PRINT

BACKGROUND OF THE INVENTION

Field of the Invention

本発明は、印刷システム、プリンタ、コンテンツサーバに関する。

Description of the Related Art

近年、インターネット等の公衆ネットワークが、爆発的に普及してきている。このため、一般ユーザが、このインターネットを介して、ユーザとは離れた所にあるコンテンツサーバからコンテンツデータをダウンロードし、自己のプリンタから印刷することができるようになってきている。

例えば、インターネットに接続されたコンテンツサーバが、芸能人の写真のデータをコンテンツデータベースに蓄積している場合、ユーザは、インターネットを介して、このコンテンツデータベースを管理するコンテンツサーバにアクセスできる。そして、コンテンツデータベースから自分の希望する芸能人の写真を、自己のコンピュータにダウンロードし、このコンピュータに接続されたプリンタから、印刷することができる。このダウンロードに際し、コンテンツサーバを提供する業者は、ユーザに相応の課金をするることにより、サービス事業が成立する。

しかし、コンテンツサーバからユーザがダウンロードする写真等のコンテンツデータには、不正なコピー印刷を防止する機構が設けられていない。このため、コンテンツサーバからダウンロードしたコンテンツデータを、ユーザが何回でもプリンタで印刷することができてしまう。これでは、コンテンツデータについて十分な著作権の保護が図られているとは言えない。

SUMMARY OF THE INVENTION

そこで本発明は、前記課題に鑑みてなされたものであり、ユーザがダウンロードしたコンテンツデータをプリンタから印刷できるとともに、そのコンテンツデータを不正にコピー印刷できないようにした、印刷システムを提供することを1

つの目的とする。

前記目的及び他の目的を達成するため、本発明の1つのアスペクトによれば、印刷システムは、プリンタと、前記プリンタにネットワークを介して接続されるコンテンツサーバとを含む印刷システムであって、

複数の種類のコンテンツオリジナルデータを蓄積している前記コンテンツサーバ用のコンテンツデータベースと、

前記コンテンツデータベースの中から、ユーザの選択した種類のコンテンツオリジナルデータを前記コンテンツサーバがコンテンツデータとして読み出す、読み出し部と、

前記読み出し部で読み出した前記コンテンツデータを送信する前記プリンタに対して、前記コンテンツサーバから、前記プリンタを特定するためのプリンタ識別子を含むプリンタ特定情報を送信するように要求する、プリンタ特定情報要求部と、

前記プリンタ特定情報要求部からの要求に基づいて、前記プリンタから前記コンテンツサーバに、前記プリンタ識別子を含む前記プリンタ特定情報を送信する、プリンタ特定情報送信部と、

前記読み出し部で読み出した前記コンテンツデータと、受信した前記プリンタ特定情報とに基づいて、これらコンテンツデータとプリンタ特定情報とを少なくとも含む印刷ジョブデータを前記コンテンツサーバが生成する、印刷ジョブデータ生成部と、

前記コンテンツサーバから前記プリンタに、前記印刷ジョブデータを送信する、印刷ジョブデータ送信部と、

前記コンテンツサーバから送信された前記印刷ジョブデータをプリンタが受信する、印刷ジョブデータ受信部と、

前記印刷ジョブデータの前記プリンタ特定情報に含まれる前記プリンタ識別子を読み出し、これが自らのプリンタ識別子と一致するかどうかを前記プリンタが判断する、判断部と、

前記判断部で、前記印刷ジョブデータに含まれる前記プリンタ識別子と、自らのプリンタ識別子とが一致すると判断した場合にのみ、前記プリンタが前記印刷

ジョブデータの印刷を実行する、印刷実行部と、
を備えている。

本発明の他のアспектによれば、プリンタは、ネットワークを介してコンテンツサーバに接続されるプリンタであって、

前記コンテンツサーバからの要求に基づいて、当該プリンタを特定するためのプリンタ識別子を含むプリンタ特定情報を前記コンテンツサーバに送信する、プリンタ特定情報送信部と、

前記コンテンツサーバから、コンテンツデータと、前記プリンタ識別子を含むプリンタ特定情報とを、少なくとも有する印刷ジョブデータを受信する、受信部と、

前記印刷ジョブデータの前記プリンタ特定情報に含まれる前記プリンタ識別子を読み出し、これが自らのプリンタ識別子と一致するかどうかを判断する、判断部と、

前記判断部で、前記印刷ジョブデータに含まれる前記プリンタ識別子と、自らのプリンタ識別子とが一致すると判断した場合にのみ、前記印刷ジョブデータの印刷を実行する、印刷実行部と、

を備えている。

本発明のさらなるアспектによれば、コンテンツサーバは、ネットワークを介してプリンタに接続されるコンテンツサーバであって、

複数の種類のコンテンツオリジナルデータを蓄積しているコンテンツデータベースと、

前記コンテンツデータベースの中から、ユーザが選択した種類のコンテンツオリジナルデータをコンテンツデータとして読み出す、読み出し部と、

前記読み出し部で読み出した前記コンテンツデータを送信する前記プリンタに対して、前記プリンタを特定するためのプリンタ識別子を含む前記プリンタ特定情報を送信するように要求する、プリンタ特定情報要求部と、

前記プリンタから前記プリンタ特定情報を受信する、プリンタ特定情報受信部と、

前記読み出し部で読み出した前記コンテンツデータと、受信した前記プリンタ

特定情報とに基づいて、これらコンテンツデータとプリンタ特定情報とを少なくともとも有する印刷ジョブデータを生成する、印刷ジョブデータ生成部と、
前記印刷ジョブデータを前記プリンタに送信する、印刷ジョブデータ送信部と、
を備えている。

BRIEF DESCRIPTION OF THE DRAWINGS

図 1 は、本発明の第 1 及び第 2 実施形態に係る印刷システムのハードウェア構成の一例を示す図、

図 2 は、本発明の第 1 実施形態に係る印刷ジョブデータの構造の一例を示す図、

図 3 A は、本発明の第 1 実施形態に係る印刷ジョブデータの先頭に位置するコピーガードコードの構成の一例を示す図、

図 3 B は、本発明の第 1 実施形態に係る印刷ジョブデータ中に位置するコピーガードコードの構成の一例を示す図、

図 4 は、本発明の第 1 実施形態に係る印刷処理システムの印刷処理全体を概略的に説明するブロック図、

図 5 は、本発明の第 1 実施形態に係るコンテンツサーバで実行される印刷ジョブデータ生成処理を説明するフローチャート（その 1）、

図 6 は、本発明の第 1 実施形態に係るコンテンツサーバで実行される印刷ジョブデータ生成処理を説明するフローチャート（その 2）、

図 7 は、本発明の第 1 実施形態に係るプリンタで実行されるプリンタ特定情報回答処理を説明するフローチャート、

図 8 は、本発明の第 1 実施形態に係るコンテンツサーバで実行される印刷ジョブデータ送信処理を説明するフローチャート、

図 9 は、本発明の第 1 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャート（その 1）、

図 10 は、本発明の第 1 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャート（その 2）、

図 11 は、本発明の第 2 実施形態に係る印刷ジョブデータの構造の一例を示す図、

図 1 2 は、本発明の第 2 実施形態に係るコピーガードコードの構成の一例を示す図、

図 1 3 は、本発明の第 2 実施形態に係る印刷処理システムの印刷処理全体を概略的に説明するブロック図、

図 1 4 は、本発明の第 2 実施形態に係るコンテンツサーバで実行される印刷ジョブデータ生成処理を説明するフローチャート、

図 1 5 は、本発明の第 2 実施形態に係るコンテンツサーバで実行される印刷ジョブデータ送信処理を説明するフローチャート、

図 1 6 は、本発明の第 2 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャート、

図 1 7 は、本発明の第 3 及び第 4 実施形態に係る印刷システムのハードウェア構成の一例を示す図、

図 1 8 は、本発明の第 3 実施形態に係る印刷処理システムの印刷処理全体を概略的に説明するブロック図、

図 1 9 は、本発明の第 3 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャート（その 1）、

図 2 0 は、本発明の第 3 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャート（その 2）、

図 2 1 は、本発明の第 4 実施形態に係る印刷処理システムの印刷処理全体を概略的に説明するブロック図、

図 2 2 は、本発明の第 4 実施形態に係るプリンタで実行される印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャートである。

DETAILED DESCRIPTION OF THE INVENTION

〔第 1 実施形態〕

本発明に係る印刷システムは、インターネットを介してコンテンツサーバから画像データを印刷ジョブデータとしてダウンロードする際に、その印刷ジョブデータの中に正常な印刷ができなくなるようなコピーガードコードを挿入しておき、この印刷ジョブデータをプリンタが印刷する際に、このコピーガードコードを解

除するに必要な解読キーをコンテンツサーバからプリンタに送信するようにしたものである。また、最初のコピーガードコードにこの印刷ジョブデータを印刷できるプリンタを特定するプリンタ特定情報を含ませておくことにより、その特定のプリンタでしか印刷ジョブデータを印刷できないようにしたものである。そして、これらにより、画像データに関して適切な著作権保護を図れるようにした。より詳しくを、以下に説明する。

まず、図1に基づいて、本実施形態に係る印刷システムの構成を説明する。この図1は、本実施形態に係る印刷システムの構成をブロックで示す概略図である。

図1に示すように、本実施形態に係る印刷システム10は、インターネット20に接続されたローカルエリアネットワーク（LAN）30と、同じくインターネット20に接続されたコンテンツ提供システム40とを備えている。インターネット20は、公衆ネットワークの一例であり、今日において、最も普及しているコンピュータの公衆ネットワークである。

ローカルエリアネットワーク30は、プロキシサーバ32を介して、このインターネット20と接続されている。このローカルエリアネットワーク30は、例えば、イーサネットから構成されており、クライアントコンピュータ34と、プリンタ36とを備えている。クライアントコンピュータ34から送信された印刷ジョブデータは、ローカルエリアネットワーク30を介して、プリンタ36で受信され、印刷が行われる。また、インターネット20からプロキシサーバ32を介して受信された各種データは、クライアントコンピュータ34やプリンタ36で受信されるようになっている。特に、インターネット20からプロキシサーバ32を介してプリンタ36で受信された印刷ジョブデータは、このプリンタ36でそのまま印刷することができる。

コンテンツ提供システム40も、プロキシサーバ42を介して、インターネット20に接続されている。このコンテンツ提供システム40においては、プロキシサーバ42にコンテンツサーバ44が接続されており、このコンテンツサーバ44はコンテンツデータベース46を有している。本実施形態においては、コンテンツデータベース46には、1又は複数の芸能人の写真が、1又は複数のデジタルの画像データとして格納されている。

これらの構成からわかるように、図 1 に示す印刷システム 10 では、コンテンツデータベース 46 に格納されている画像データを、インターネット 20 を介してプリンタ 36 が印刷ジョブデータとして取り込んで、印刷することが可能である。本実施形態においては、プリンタ 36 におけるこの画像データの印刷にあたり、不正なコピー印刷が行われてしまうのを防止しようとしている。

次に、図 2 に基づいて、コンテンツサーバ 44 からプリンタ 36 に送信される画像データの印刷ジョブデータ構造の一例を説明する。この図 2 は、コンテンツサーバ 44 が画像データをプリンタ 36 に送信するために生成する印刷ジョブデータの構造の一例を示す図である。

図 2 に示すように、印刷ジョブデータは、先頭位置にコピーガードコード CGCO1 が挿入されており、コンテンツデータ CD の間に、コピーガードコード CGCO2 が分散してランダムに挿入されている。コンテンツデータ CD は、画像データを印刷する上で必要不可欠な本来のデータである。コピーガードコード CGCO1、CGCO2 は、これを抜いてからでないとプリンタ 36 や他のプリンタで正常に印刷できないようにするための不正コピー防止用のデータである。本実施形態では、印刷ジョブデータの先頭には、必ずコピーガードコード CGCO1 が存在している。そして、コピーガードコード CGCO2 をコンテンツデータ CD の間にもランダムに散りばめることにより、不正なコピー印刷がプリンタ 36 や他のプリンタで行われないようにしている。コピーガードコード CGCO2 は、コンテンツデータ CD のデータ長に応じて必要によりランダムに挿入される。つまり、コピーガードコード CGCO2 は、コンテンツデータのデータ長によっては、印刷ジョブデータ中に存在しない場合もあるし、1 つだけ存在する場合や複数存在する場合もある。

図 3 A は、本実施形態に係るコピーガードコード CGCO1 のデータ構成を示す図であり、図 3 B は、本実施形態に係るコピーガードコード CGCO2 のデータ構成を示す図である。

図 3 A に示すように、コピーガードコード CGCO1 は、コピーガードコマンド CGCM1 と、プリンタ特定情報 PI と、コードポインタ CP1 とを、含んでいる。

コピーガードコマンドCGCM1は、これ以降数バイトが、コピーガードコードCGCO1に関するデータが格納されていることを示すコマンドである。本実施形態においては、このコピーガードコマンドCGCM1については、何の暗号化もされていない。

プリンタ特定情報PIは、この印刷ジョブデータを印刷できるプリンタを限定するための情報である。ここでの説明においては、プリンタ36でのみ印刷でき、他のプリンタでは印刷できないようにするために、プリンタ36を特定するための情報が格納されている。また、このプリンタ特定情報PIは、プリンタ36が生成する情報であり、プリンタ36自体が、自らのプリンタ識別子を暗号化することにより生成され、コンテンツサーバ44に送信される情報である。したがって、このプリンタ特定情報PIは、プリンタ36でしか解読できないようになっている。

コードポインタCP1は、次のコピーガードコードCGCO2が格納されている位置を示すポインタである。コピーガードコードCGCO1は、印刷ジョブデータの先頭に格納されていることは決まっているが、それ以降のコピーガードコードCGCO2は、印刷ジョブデータのどの位置に格納されているのかは決まっておらず、コピーガードコードCGCO2を生成する毎にランダムに決定される。このため、次のコピーガードコードCGCO2の位置を、先頭のコピーガードコードCGCO1がコードポインタCP1により指し示すようにしている。本実施形態では、このコードポインタCP1は、コンテンツサーバ44が暗号化した上で生成する。このため、プリンタ36は、印刷ジョブデータを受信したとしても、コンテンツサーバ44からこれを解読するためのコードポインタ解読キーを受信しないと、このコードポインタCP1の情報を得ることができないようになっている。このため、コードポインタ解読キーが本実施形態におけるプロテクト解除キーを構成している。

図3Bに示すように、2番目以降のコピーガードコードCGCO2は、コピーガードコマンドCGCM2と、コードポインタCP2とを、含んでいる。

コピーガードコマンドCGCM2は、これ以降数バイトが、コピーガードコードCGCO2に関するデータが格納されていることを示すコマンドである。

コードポインタCP2は、次のコピーガードコードCGCO2が格納されている位置を示すポインタである。すなわち、次のコピーガードコードCGCO2の位置を、前のコピーガードコードCGCO2がコードポインタCP2により指し示すようにしている。

本実施形態では、これらコピーガードコマンドCGCM2とコードポインタCP2は、暗号化されていない。これは、コピーガードコードCGCO2の挿入位置が印刷ジョブデータ毎に異なるので、最初のコードポインタCP1が暗号化されている以上、暗号化せずとも第三者に解読されて、その位置を特定されるおそれは実質的にほとんどないからである。

なお、図3A及び図3Bに示したコピーガードコードCGCO1、CGCO2は、これらの図に示す以外のデータ項目を備えていてもよいし、また、図示以外のデータ項目順であってもよい。

次に、図4に基づいて、本実施形態に係る印刷システム10における画像データの印刷処理を概略的に説明する。この図4は、画像データをプリンタ36で印刷する際に、クライアントコンピュータ34と、プリンタ36と、コンテンツサーバ44との間で送受されるデータ及び指令の一例を、順番に説明するためのブロック図である。

図4に示すように、ユーザはクライアントコンピュータ34からインターネット20を介して、コンテンツデータベース46にアクセスする。そして、コンテンツデータベース46に蓄積されている複数種類の画像データの中から、印刷したい画像データを特定する。コンテンツデータベース46からの画像データの読み出しは、読み出し部45aで行われる。続いて、ユーザは、(1)その画像データの印刷要求と、印刷先のプリンタとしてプリンタ36を指定する情報を、インターネット20を介してコンテンツサーバ44に送信する。

この画像データの印刷要求と印刷先のプリンタの指定とを受信したコンテンツサーバ44は、(2)プリンタ特定情報要求部45bが、印刷先に指定されているプリンタ36に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報PIを要求する。

このプリンタ特定情報PIの要求を受けたプリンタ36は、暗号化処理部50

において、（３）暗号化したプリンタ特定情報 P I を生成する。本実施形態においては、プリンタ 3 6 は、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 の管理者がこのプリンタ 3 6 に任意に割り付けた情報とを用いて、プリンタ 3 6 を他のプリンタと識別するためのプリンタ識別子を暗号化することにより、プリンタ特定情報 P I を生成する。このため、これらプリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 に管理者が割り付けた情報とが、プリンタ特定情報 P I を解読するプリンタ解読キーとなる。また、本実施形態においては、プリンタ 3 6 を他のプリンタと識別するためのプリンタ識別子として、M A C（Media Access Control）アドレスを用いている。M A C アドレスは、イーサネットに接続する L A N カードに、製造時に割り当てられる固有のアドレスである。続いて、プリンタ 3 6 の暗号化処理部 5 0 は、（４）この生成したプリンタ特定情報 P I を、インターネット 2 0 を介して、コンテンツサーバ 4 4 に送信する。

プリンタ特定情報 P I を受信したコンテンツサーバ 4 4 は、印刷ジョブデータ処理部 4 5 c において、（５）このプリンタ特定情報 P I を用いて、コピーガードコード C G C O 1（図 3 A 参照）を生成し、またこれに続くコピーガードコード C G C O 2（図 3 B 参照）を生成する。そして、（６）このコピーガードコード C G C O 1、C G C O 2 をコンテンツデータ D C の間に適宜挿入して、印刷ジョブデータ（図 2 参照）を生成する。コピーガードコード C G C O 2 をコンテンツデータ D C に挿入する位置は、印刷ジョブデータの生成の都度、乱数によりランダムに定められる。そして、コンテンツサーバ 4 4 の印刷ジョブデータ処理部 4 5 c は、（７）生成した印刷ジョブデータを、インターネット 2 0 を介して、プリンタ 3 6 に送信する。

印刷ジョブデータを受信したプリンタ 3 6 は、暗号解読処理部 5 2 において、（８）印刷ジョブデータの先頭から、コピーガードコード C G C O 1 を抜き取る。そして、（９）このコピーガードコード C G C O 1 からプリンタ特定情報 P I を読み出し、この印刷ジョブデータがプリンタ 3 6 用に生成された印刷ジョブデータであるかどうかを確認する。具体的には、暗号解読処理部 5 2 において、この受信したプリンタ特定情報 P I が、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 に管理者が割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるかどうかを確認し、

まず、図5に示すように、コンテンツサーバ44は、印刷ジョブデータの送信先となるプリンタ36に、インターネット20を介して接続する（ステップS10）。接続すべきプリンタは、コンテンツサーバ44から送信された印刷先プリンタの指定により、特定することができる。

次に、コンテンツサーバ44は、印刷先のプリンタ36に接続できたかどうかを判断する（ステップS11）。印刷先のプリンタ36に接続できなかった場合（ステップS11：No）には、この印刷ジョブデータ生成処理を終了する。

一方、印刷先のプリンタ36に接続できた場合（ステップS11：Yes）には、コンテンツサーバ44は、プリンタ36に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報PIを要求する（ステップS12）。なお、このコンテンツサーバ44とプリンタ36との間のインターネット20を介した接続は、この一連の印刷処理が終了するまで維持されるものとする。

続いて、コンテンツサーバ44は、プリンタ36からプリンタ特定情報PIを受信したかどうかを判断（ステップS13）し、受信していない場合（ステップS13：No）には、このステップS13の処理を繰り返して待機する。

一方、プリンタ36からインターネット20を介して、プリンタ特定情報PIを受信した場合（ステップS13：Yes）には、印刷ジョブデータの先頭に挿入させるコピーガードコードCGCO1のコードポインタCP1を、乱数で決定する（ステップS14）。続いて、コンテンツサーバ44は、この生成したコードポインタCP1を暗号化処理する。この際、コンテンツサーバ44は、この暗号化したコードポインタCP1を解読するのに必要なコードポインタ解読キーを保持しておく（ステップS16）。

次に、コンテンツサーバ44は、プリンタ36で暗号化されたプリンタ特定情報PIと、コンテンツサーバ44で暗号化されたコードポインタCP1を、コピーガードコマンドCGCM1に付加することにより、コピーガードコードCGCO1を生成する（ステップS17）。

次に、図6に示すように、コンテンツサーバ44は、生成したコピーガードコードCGCO1を、印刷ジョブデータの先頭に挿入する（ステップS18）。印刷ジョブデータを生成するにあたり、コンテンツデータCDは、コンテンツデー

データベース 46 に蓄積されている画像データに基づいて生成される。すなわち、コンテンツデータベース 46 からユーザの選択した画像データを読み出し、この画像データをコンテンツデータ CD とする。

続いて、ステップ S 14 で生成したコードポインタ CP 1 の位置に、コンテンツデータ CD がまだ存在するかどうかを判断する（ステップ S 19）。この位置にコンテンツデータ CD が存在しない場合（ステップ S 19：No）には、ユーザが指定した画像データについての印刷ジョブデータの生成が完了したことになるので、この印刷ジョブデータ生成処理を終了する。

一方、ステップ S 14 で生成したコードポインタ CP 1 の位置に、コンテンツデータ CD が存在する場合（ステップ S 19：Yes）には、その次のコードポインタ CP 2 を乱数で決定する（ステップ S 20）。続いて、コンテンツサーバ 44 は、このステップ S 20 で決定したコードポインタ CP 2 を、コピーガードコマンド CGCM 2 に付加することにより、2 番目のコピーガードコード CGCO 2 を生成する（ステップ S 21）。そして、このステップ S 21 で生成したコピーガードコード CGCO 2 を、ステップ S 14 で決定したコードポインタ CP 1 の位置に、挿入する（ステップ S 22）。そして、上述したステップ S 18 の処理に戻る。

以後、上述したステップ S 18～ステップ S 22 の処理を繰り返す。但し、2 度目以降のループでは、ステップ S 19 においては、前回のステップ S 20 の処理で決定したコードポインタ CP 2 の位置に、コンテンツデータ CD がまだ存在するかどうかを判断することになり、また、ステップ S 22 においては、このコードポインタ CP 2 の位置にコピーガードコード CGCO 2 を挿入することになる。

次に、図 7 に基づいて、プリンタ 36 におけるプリンタ特定情報回答処理について説明する。この図 7 は、コンテンツサーバ 44 からプリンタ特定情報 PI を要求されたプリンタ 36 が実行するプリンタ特定情報回答処理を説明するフローチャートである。つまり、図 5 のステップ S 12 のプリンタ特定情報 PI の要求に基づいて、プリンタ 36 で実行される処理である。

まず、プリンタ 36 は、プリンタ固有の ID と、プリンタ 36 の管理者がこの

プリンタ 3 6 に任意に割り付けた情報とがプリンタ解読キーとなるように、プリンタ 3 6 を識別するためのプリンタ識別子を暗号化し、プリンタ特定情報 P I を生成する（ステップ S 3 0）。上述したように、本実施形態においては、プリンタ 3 6 を他のプリンタと識別するためのプリンタ識別子として、M A C（Media Access Control）アドレスを用いている。

次に、プリンタ 3 6 は、インターネット 2 0 を介して、コンテンツサーバ 4 4 に、この生成したプリンタ特定情報 P I を送信する（ステップ S 3 1）。そして、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 の管理者がこのプリンタ 3 6 に割り付けた情報とを、プリンタ解読キーとして保持する（ステップ S 3 2）。これにより、本実施形態に係るプリンタ特定情報回答処理が終了する。

次に、図 8 に基づいて、コンテンツサーバ 4 4 における印刷ジョブデータ送信処理について説明する。この図 8 は、上記図 5 及び図 6 に示した印刷ジョブデータ生成処理を終了したコンテンツサーバ 4 4 が実行する印刷ジョブデータ送信処理を説明するフローチャートである。つまり、図 6 のステップ S 1 9 で画像データの最後まで印刷ジョブデータを生成したと判断した場合に、コンテンツサーバ 4 4 で実行される処理である。

まず、図 8 に示すように、コンテンツサーバ 4 4 は、インターネット 2 0 を介して、1 つのコピーガードコード C G C O 1 と、画像データの長さによっては 1 又は複数のコピーガードコード C G C O 2 とを挿入した印刷ジョブデータを、プリンタ 3 6 に送信する（ステップ S 4 0）。続いて、コンテンツサーバ 4 4 は、プリンタ 3 6 からコードポインタ解読キーの送信を要求されたかどうかを判断する（ステップ S 4 1）。このコードポインタ解読キーの送信を要求されていない場合（ステップ S 4 1：N o）には、このステップ S 4 1 の処理を繰り返して待機する。

一方、プリンタ 3 6 からコードポインタ解読キーの送信を要求された場合（ステップ S 4 1：Y e s）には、印刷の承認を兼ねて、プリンタ 3 6 にコードポインタ解読キーを送信する（ステップ S 4 2）。そして、本実施形態では、プリンタ 3 6 にこの画像データの印刷を 1 回しか認めていないので、ステップ S 4 2 でコードポインタ解読キーを送信した場合には、これによりプリンタ 3 6 で印刷が

実行されたとみなして、これ以降、プリンタ 3 6 からこの印刷ジョブデータについてのコードポインタ解読キーの送信要求があったとしても、受け付けないこととする。このため、プリンタ 3 6 は、受信した印刷ジョブデータを 1 回に限り印刷することができるようになる。

次に、図 9 及び図 1 0 に基づいて、プリンタ 3 6 における印刷ジョブデータ解読処理について説明する。これら図 9 及び図 1 0 は、上記図 7 に示したプリンタ特定情報回答処理を終了したプリンタ 3 6 が実行する印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャートである。つまり、図 7 のステップ S 3 2 でプリンタ解読キーを保持した後に、プリンタ 3 6 で実行される処理である。

まず、図 9 に示すように、プリンタ 3 6 は、コンテンツサーバ 4 4 から印刷ジョブデータを受信したかどうかを判断する（ステップ S 5 0）。印刷ジョブデータを受信していない場合（ステップ S 5 0 : N o）には、このステップ S 5 0 の処理を繰り返して待機する。

一方、コンテンツサーバ 4 4 から印刷ジョブデータを受信した場合（ステップ S 5 0 : Y e s）には、プリンタ 3 6 は、印刷ジョブデータにコピーガードコード C G C O 1 が挿入されているかどうかを確認する（ステップ S 5 1）。具体的には、プリンタ 3 6 は、印刷ジョブデータの先頭位置において、コピーガードコマンド C G C M 1 が存在するかどうかを確認する。コピーガードコマンド C G C M 1 が存在する場合には、この印刷ジョブデータにコピーガードコード C G C O 1、C G C O 2 が挿入されていることを示している。

コピーガードコード C G C O 1 が挿入されていない場合（ステップ S 5 2 : N o）には、通常の印刷ジョブデータであるので、そのまま、この印刷ジョブデータを印刷部 5 4 に送信する（ステップ S 5 3）。これにより、通常の印刷が実行される。

一方、コピーガードコード C G C O 1 が挿入されている場合（ステップ S 5 2 : Y e s）には、印刷ジョブデータの先頭にあるコピーガードコード C G C O 1 からプリンタ特定情報 P I を抜き出して、ステップ S 3 2（図 7 参照）で保持したプリンタ解読キーを用いて、プリンタ特定情報 P I を解読する（ステップ S 5 4）。すなわち、プリンタ特定情報 P I を、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3

6の管理者がこのプリンタ36に任意に割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーを用いて解読し、このプリンタ特定情報P Iからプリンタ識別子を取得する。

次に、プリンタ36は、プリンタ特定情報P Iを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致するかどうかを判断する（ステップS 55）。プリンタ特定情報P Iを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致しない場合や、そもそも解読できない場合（ステップS 55：N o）には、この印刷ジョブデータは、このプリンタ36のために生成されたデータではないので、この印刷ジョブデータ解読処理を終了する。

一方、プリンタ特定情報P Iを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致した場合（ステップS 55：Y e s）には、図10に示すように、インターネット20を介して、コンテンツサーバ44にコードポインタ解読キーを要求する（ステップS 56）。そして、プリンタ36は、コンテンツサーバ44からコードポインタ解読キーを受信したかどうかを判断し（ステップS 57）、受信していない場合（ステップS 57：N o）には、このステップS 57の処理を繰り返して、受信するまで待機する。

コンテンツサーバ44からコードポインタ解読キーを受信した場合（ステップS 57：Y e s）には、プリンタ36は、そのコードポインタ解読キーを用いて、印刷ジョブデータの先頭に位置するコピーガードコードC G C O 1のコードポインタC P 1を解読する（ステップS 58）。これにより、2番目のコピーガードコードC G C O 2の位置が判明する。

次に、プリンタ36は、印刷ジョブデータの先頭からコピーガードコードC G C O 1を取り除いて、2番目のコピーガードコードC G C O 2の位置の前までの印刷ジョブデータを印刷部54に送信する（ステップS 59）。続いて、プリンタ36は、ステップS 58で解読したコードポインタC P 1で指し示される位置に、印刷ジョブデータがまだ存在するかどうかを判断する（ステップS 60）。この位置に、印刷ジョブデータが存在しない場合（ステップS 60：N o）には、コンテンツサーバ44から受信した印刷ジョブデータから、コピーガードコードC G C O 1、C G C O 2をすべて取り除いた上で、そのすべてを印刷部54に送信したことになるので、この印刷ジョブデータ解読処理を終了する。

コードポインタCP1の位置に、印刷ジョブデータがまだ存在する場合（ステップS60：Yes）には、このコードポインタCP1により指し示される位置から、コピーガードコードCGCO2を読み出して、そのコードポインタCP2を取得する（ステップS61）。

次に、プリンタ36は、ステップS61で読み出したコピーガードコードCGCO2を取り除いて、このコピーガードコードCGCO2の位置の前までの印刷ジョブデータを印刷部54に送信する（ステップS62）。そして、上述したステップS60に戻る。

以降、上述したステップS60～ステップS62の処理を繰り返す。但し、2回目以降のループにおいては、ステップS60においては、前回のステップS61で取得したコードポインタCP2の位置に、印刷ジョブデータが存在するかどうかを判断する。また、ステップS61においては、前回のステップS61で取得したコードポインタCP2の位置から、さらにその次のコピーガードコードCGCO2のコードポインタCP2を取得する。続いて、ステップS62においては、前々回のステップS61で取得したコードポインタCP2の位置から、コピーガードコードCGCO2を取り除いて、印刷部54に送信する（ステップS62）。

以上のように、本実施形態に係る印刷システム10によれば、コンテンツサーバ44から送信された画像データの印刷ジョブデータをプリンタ36が印刷する際に、プリンタ36でのみ1回に限り印刷することができるようにしたので、コンテンツデータベース46に蓄積された画像データの不正なコピー印刷を防止することができる。

具体的には、プリンタ36のプリンタ識別子を含むプリンタ特定情報PIを、コンテンツサーバ44からプリンタ36に送信する印刷ジョブデータに含ませた。そして、プリンタ識別子が一致した場合にのみ、プリンタがその印刷ジョブデータを印刷するようにした。このため、プリンタ36以外の他のプリンタが、この印刷ジョブデータを受信したとしても、印刷できないようにすることができる。

しかも、このプリンタ特定情報PIは、プリンタ36の固有のIDと、プリンタ36の管理者が任意に割り付けた情報とを組み合わせたプリンタ解読キーでしか解読できないようにしてあるので、プリンタ36以外のプリンタがこの印刷ジ

ジョブデータを取得したとしても、プリンタ特定情報 P I を解読することができない。

また、このような不正コピー印刷防止の機構のないプリンタであっても、印刷ジョブデータの先頭にコピーガードコード C G C O 1 が挿入されているので、このまま印刷ジョブデータを、このような機構のないプリンタで印刷させようとしても、意味不明な印刷結果しか得ることができない。

さらに、先頭のコピーガードコード C G C O 1 の位置は固定的なものであるが、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 の位置は、印刷ジョブデータ毎にランダムに異なるので、先頭にあるコピーガードコード C G C O 1 を取り除いただけでは、正常な印刷結果を得ることができない。

また、不正な第三者がこの先頭に位置するコピーガードコード C G C O 1 を解読しようとしても、コードポインタ C P 1 は暗号化されているので、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 の位置を知ることができない。このため、何らかの手段でコピーガードコード C G C O 1 を取り除いたとしても、2 番目のコピーガードコード C G C O 2 以降のコンテンツデータ C D は、正常に印刷することができない。

しかも、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 は、印刷ジョブデータの中の随所に散りばめられているので、複数のパケットに分割して、パケット毎に正常なコンテンツデータ C D を不正に得ようとしても、容易には取得することができない。

さらに、画像データの不正コピーを防止する手法として、コピーガードコード C G C O 1、C G C O 2 をコンテンツデータ C D の間に挿入するという簡便な方法を用いたので、プリンタ 3 6 で正常な印刷結果を得るために行う処理は、受信した印刷ジョブデータからこれらコピーガードコード C G C O 1、C G C O 2 を取り除くという簡単な処理だけである。このため、データ処理に多くの時間を必要とせず、プリンタ 3 6 の処理負担を軽減することができる。

また、コンテンツサーバ 4 4 から印刷許可を兼ねたコードポインタ解読キーは、1 度だけプリンタ 3 6 に送信することとしたので、プリンタ 3 6 で不正に複数枚の画像データのコピー印刷が行われてしまうのを、防止することができる。しか

も、プリンタ 3 6 では、このコードポインタ解読キーの要求は、プリンタ特定情報 P I に含まれるプリンタ識別子と、自らのプリンタ識別子とが一致した場合にのみ、コンテンツサーバ 4 4 に送信するようにした。このため、コンテンツサーバ 4 4 が生成した印刷ジョブデータの送信先と、実際に印刷をするプリンタとが一致した場合にのみ、コードポインタ解読キーを要求することができ、且つ、取得することができる。

なお、本実施形態は、上記説明に限定されずに、種々に変形可能である。例えば、上記図 3 において、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 のコードポインタ C P 2 は、暗号化されていないと説明したが、これを暗号化して、コードポインタ解読キーを用いないと解読できないようにしてもよい。

さらに、上述した実施形態においては、コピーガードコマンド C G C M 2 は、暗号化されていないと説明したが、これを暗号化するようにしてもよい。この場合、解読キーとして、コードポインタ解読キーをそのまま用いるようにしてもよいし、別の解読キーを用いるようにしてもよい。別の解読キーを用いる場合には、プリンタ 3 6 は別途コンテンツサーバ 4 4 からその解読キーを取得する必要がある。

また、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 の位置は、その前にあるコピーガードコード C G C O 1 又はコピーガードコード C G C O 2 により特定されている。このため、コピーガードコマンド C G C M 2 はデータ構造から省くことも可能である。

さらに、2 番目以降のコピーガードコード C G C O 2 については、プリンタ特定情報 P I をデータ構造上設けないこととしたが、このプリンタ特定情報 P I を設けるようにしてもよい。この場合、プリンタ 3 6 ではこのコピーガードコード C G C O 2 毎に自己のプリンタ 3 6 用の印刷ジョブデータであるかどうかを確認するようにしてもよい。

また、上述した実施形態では、プリンタ特定情報 P I を、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 に管理者が任意に割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるようにしたが、どちらか一方に基づいて暗号化し、解読できるようにしてもよい。但し、本実施形態のようにプリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6

に管理者が割り付けた情報との2つの情報が一致して初めて解読できるようにすることにより、プリンタ特定情報P Iの解読の困難性は向上する。一方、これとは反対に、プリンタ36のプリンタ識別子を暗号化することなく、そのままプリンタ特定情報として、プリンタ36からコンテンツサーバ44に送信するようにしてもよい。これは、プリンタ識別子を暗号化してプリンタ特定情報P Iとせずとも、第三者が不正な意図を持って印刷ジョブデータを操作しなければ、コンテンツサーバ44で特定したプリンタ以外では印刷できないことには変わらないからである。

〔第2実施形態〕

本発明の第2実施形態は、画像データであるコンテンツデータ全体をコンテンツサーバ44で暗号化するとともに、コピーガードコードに含まれるプリンタ特定情報P Iが一致したプリンタ32に対してのみ、暗号を解読するコンテンツデータ解読キーをコンテンツサーバ44から送信することにより、画像データに関して適切な著作権保護を図れるようにしたものである。より詳しくを、以下に説明する。

なお、本実施形態に係る印刷システム10の構成は、上述した第1実施形態の図1と同様であるので、その詳しい説明は省略する。

まず、図11に基づいて、コンテンツサーバ44からプリンタ36に送信される画像データの印刷ジョブデータ構造の一例を説明する。この図11は、コンテンツサーバ44が画像データをプリンタ36に送信するために生成する印刷ジョブデータの構造の一例を示す図である。

図11に示すように、印刷ジョブデータは、先頭位置にコピーガードコードCGCO3が挿入されており、これに続くコンテンツデータCDは暗号化されている。暗号化されたコンテンツデータCDは、その解読キーであるコンテンツデータ解読キーをコンテンツサーバ44から取得しないと、解読できないようになっている。このため、本実施形態においては、コピーガードコードCGCO3は、先頭位置に1つだけ挿入されていれば足りる。このコンテンツデータ解読キーが、本実施形態におけるプロテクト解除キーを構成している。

図12は、本実施形態に係るコピーガードコードCGCO3のデータ構成の一

例を示す図である。この図 1 2 に示すように、コピーガードコード C G C O 3 は、コピーガードコマンド C G C M 3 と、プリンタ特定情報 P I とを、含んでいる。

コピーガードコマンド C G C M 3 は、これ以降数バイトが、コピーガードコード C G C O 3 に関するデータが格納されていることを示すコマンドである。本実施形態においては、このコピーガードコマンド C G C M 1 については、何の暗号化もされていない。

プリンタ特定情報 P I は、上述した第 1 実施形態と同様に、この印刷ジョブデータを印刷できるプリンタを限定するための情報である。ここでの説明においては、プリンタ 3 6 でのみ印刷でき、他のプリンタでは印刷できないようにするために、プリンタ 3 6 を特定するための情報が格納されている。また、このプリンタ特定情報 P I は、プリンタ 3 6 が生成する情報であり、プリンタ 3 6 自体が、プリンタ 3 6 のプリンタ識別子を暗号化することにより生成され、コンテンツサーバ 4 4 に送信される情報である。したがって、このプリンタ特定情報 P I は、プリンタ 3 6 でしか解読できないようになっている。

なお、図 1 2 に示したコピーガードコード C G C O 3 は、この図に示す以外のデータ項目を備えていてもよいし、また、図示以外のデータ項目順であってもよい。

次に、図 1 3 に基づいて、本実施形態に係る印刷システム 1 0 における画像データの印刷処理を概略的に説明する。この図 1 3 は、画像データをプリンタ 3 6 で印刷する際に、クライアントコンピュータ 3 4 と、プリンタ 3 6 と、コンテンツサーバ 4 4 との間で送受されるデータ及び指令の一例を、順番に説明するためのブロック図であり、上述した第 1 実施形態における図 4 に相当する図である。

この図 1 3 においては、(4) の処理までは、上述した第 1 実施形態と同様の処理である。すなわち、ユーザはクライアントコンピュータ 3 4 からインターネット 2 0 を介して、コンテンツデータベース 4 6 をアクセスする。そして、コンテンツデータベース 4 6 に蓄積されている複数種類の画像データの中から、印刷したい画像データを特定する。コンテンツデータベース 4 6 からの画像データの読み出しは、読み出し部 4 5 a で行われる。続いて、ユーザは、(1) その画像データの印刷要求と、印刷先のプリンタとしてプリンタ 3 6 を指定する情報を、

インターネット 20 を介してコンテンツサーバ 44 に送信する。

この画像データの印刷要求と印刷先のプリンタの指定とを受信したコンテンツサーバ 44 は、(2) プリンタ特定情報要求部 45 b が、印刷先に指定されているプリンタ 36 に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報 P I を要求する。

このプリンタ特定情報 P I の要求を受けたプリンタ 36 は、暗号化処理部 50 において、(3) プリンタ識別子を暗号化したプリンタ特定情報 P I を生成する。続いて、プリンタ 36 の暗号化処理部 50 は、(4) この生成したプリンタ特定情報 P I を、インターネット 20 を介して、コンテンツサーバ 44 に送信する。

次の(5)以降の処理は、上述した第 1 実施形態と異なる。すなわち、プリンタ特定情報 P I を受信したコンテンツサーバ 44 は、印刷ジョブデータ処理部 45 c において、(5) このプリンタ特定情報 P I を用いて、コピーガードコード C G C O 3 (図 12 参照) を生成するとともに、画像データであるコンテンツデータ C D 全体を暗号化する。そして、(6) このコピーガードコード C G C O 3 を、暗号化したコンテンツデータ D C の先頭に挿入して、印刷ジョブデータ (図 11 参照) を生成する。続いて、コンテンツサーバ 44 の印刷ジョブデータ処理部 45 c は、(7) 生成した印刷ジョブデータを、インターネット 20 を介して、プリンタ 36 に送信する。

印刷ジョブデータを受信したプリンタ 36 は、暗号解読処理部 52 において、(8) 印刷ジョブデータの先頭から、コピーガードコード C G C O 3 を抜き取る。そして、(9) このコピーガードコード C G C O 3 からプリンタ特定情報 P I を読み出し、この印刷ジョブデータがプリンタ 36 用に生成された印刷ジョブデータであるかどうかを確認する。具体的には、暗号解読処理部 52 において、この受信したプリンタ特定情報 P I が、プリンタ固有の I D と、プリンタ 36 に管理者が任意割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるかどうかを確認し、解読できた場合には、解読して得られたプリンタ識別子が、プリンタ 36 自身のものであるかどうかを確認する。解読したプリンタ識別子がプリンタ 36 自身のものであることを示している場合には、(10) インターネット 20 を介して、コンテンツサーバ 44 にコンテンツデータ解読キーを要求する。一方、解

読したプリンタ識別子がプリンタ 3 6 自身のものであることを示していない場合や、そもそも解読できない場合には、コンテンツデータ解読キーを要求することなく、この印刷処理を終了する。このため、プリンタ 3 6 では、他のプリンタ用の印刷ジョブデータを受信したとしても、それを印刷することはできない。

プリンタ 3 6 から送信されたコードポインタ解読キーの要求は、コンテンツサーバ 4 4 の解読キー処理部 4 5 d で受信される。そして、この解読キー処理部 4 5 d は、インターネット 2 0 を介して、(1 1) プリンタ 3 6 にコンテンツデータ解読キーを送信する。このコンテンツデータ解読キーを受信したプリンタ 3 6 は、暗号解読処理部 5 2 において、暗号化されたコンテンツデータ C D をコンテンツデータ解読キーを用いて解読する。そして、解読したコンテンツデータ C D を、印刷部 5 4 に送信する。これにより、(1 2) 印刷部 5 4 で印刷が正常に実行される。

以上、本実施形態に係る印刷システム 1 0 における印刷処理を概略的に説明したが、次に、コンテンツサーバ 4 4 及びプリンタ 3 6 の個別の処理を詳しく説明する。

まず、図 1 4 に基づいて、コンテンツサーバ 4 4 における印刷ジョブデータ生成処理について説明する。この図 1 4 は、クライアントコンピュータ 3 4 から画像データの印刷要求と印刷先プリンタの指定を受信したクライアントコンピュータ 3 4 が実行する印刷ジョブデータ生成処理を説明するフローチャートである。

図 1 4 において、ステップ S 7 0 ～ステップ S 7 3 の処理は、上述した第 1 実施形態における図 5 のステップ S 1 0 ～ステップ S 1 3 の処理と、同様の処理である。すなわち、コンテンツサーバ 4 4 は、印刷ジョブデータの送信先となるプリンタ 3 6 に、インターネット 2 0 を介して接続する（ステップ S 7 0）。

次に、コンテンツサーバ 4 4 は、印刷先のプリンタ 3 6 に接続できたかどうかを判断する（ステップ S 7 1）。印刷先のプリンタ 3 6 に接続できなかった場合（ステップ S 7 1：N o）には、この印刷ジョブデータ生成処理を終了する。

一方、印刷先のプリンタ 3 6 に接続できた場合（ステップ S 7 1：Y e s）には、コンテンツサーバ 4 4 は、プリンタ 3 6 に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報 P I を要求する（ステップ S 7 2）。なお、このコンテンツ

サーバ 4 4 とプリンタ 3 6 との間のインターネット 2 0 を介した接続は、この一連の印刷処理が終了するまで維持されるものとする。

続いて、コンテンツサーバ44は、プリンタ36からプリンタ特定情報P Iを受信したかどうかを判断（ステップS 73）し、受信していない場合（ステップS 73：N o）には、このステップS 13の処理を繰り返して待機する。

続くステップS 7 4以降の処理は、上述した第1実施形態の処理と異なる。すなわち、プリンタ3 6からインターネット2 0を介して、プリンタ特定情報P Iを受信した場合（ステップS 7 3：Y e s）には、コンテンツデータベース4 6からユーザの選択したコンテンツデータを読み出し、このコンテンツデータ全体を暗号化処理する（ステップS 7 4）。そして、この暗号化の処理の際に、これを解読するためのコンテンツデータ解読キーを保持しておく（ステップS 7 5）。

次に、コンテンツサーバ４４は、コピーガードコマンドＣＧＣＭ３に、プリンタ３６から受信したプリンタ特定情報ＰＩを付加することにより、コピーガードコードＣＧＣＯ３を生成する（ステップＳ７６）。続いて、コンテンツサーバ４４は、上記ステップＳ７４で暗号化したコンテンツデータＣＤの先頭に、コピーガードコードＣＧＣＯ３を付加して、印刷ジョブデータを生成する（ステップＳ７７）。以上により、本実施形態に係る印刷ジョブデータ生成処理が終了する。

なお、本実施形態におけるプリンタ特定情報回答処理は、上述した第1実施形態における図7のプリンタ特定情報回答処理と同様の処理である。このため、ここではその詳しい説明は省略する。

次に、図 15 に基づいて、コンテンツサーバ 44 における印刷ジョブデータ送信処理について説明する。この図 15 は、上記図 14 に示した印刷ジョブデータ生成処理を終了したコンテンツサーバ 44 が実行する印刷ジョブデータ送信処理を説明するフローチャートである。つまり、図 14 のステップ S77 で印刷ジョブデータの生成が完了した場合に、コンテンツサーバ 44 で実行される処理である。

まず、図 15 に示すように、コンテンツサーバ 44 は、インターネット 20 を介して、先頭に 1 つのコピーガードコード CGCO3 が挿入された印刷ジョブデータを、プリンタ 36 に送信する（ステップ S80）。続いて、コンテンツサー

バ４４は、プリンタ３６からコンテンツデータ解読キーの送信を要求されたかどうかを判断する（ステップＳ８１）。このコンテンツデータ解読キーの送信を要求されていない場合（ステップＳ８１：Ｎｏ）には、このステップＳ８１の処理を繰り返して待機する。

プリンタ 3 6 からコンテンツデータ解読キーの送信を要求された場合には、印刷の承認を兼ねて、プリンタ 3 6 にコンテンツデータ解読キーを送信する（ステップ S 8 2）。そして、本実施形態では、プリンタ 3 6 にこの画像データの印刷を 1 回しか認めていないので、ステップ S 8 2 でコンテンツデータ解読キーを送信した場合には、これによりプリンタ 3 6 で印刷が実行されたとみなして、これ以降、プリンタ 3 6 からこの印刷ジョブデータについてのコンテンツデータ解読キーの送信要求があったとしても、受け付けないこととする。このため、プリンタ 3 6 は、受信した印刷ジョブデータを 1 回に限り印刷することができるようになる。

次に、図 16 に基づいて、プリンタ 36 における印刷ジョブデータ解読処理について説明する。この図 16 は、上述した第 1 実施形態における図 7 のプリンタ特定情報回答処理を終了したプリンタ 36 が実行する印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャートである。つまり、本実施形態においても、印刷ジョブデータ解読処理は、図 7 のステップ S 32 でプリンタ解読キーを保持した後に実行される。

まず、図16に示すように、プリンタ36は、コンテンツサーバ44から印刷ジョブデータを受信したかどうかを判断する（ステップS90）。印刷ジョブデータを受信していない場合（ステップS90：No）には、このステップS90の処理を繰り返して待機する。

一方、コンテンツサーバ44から印刷ジョブデータを受信した場合（ステップS90：Yes）には、プリンタ36は、印刷ジョブデータにコピーガードコードCGCO3が挿入されているかどうかを確認する（ステップS91）。具体的には、プリンタ36は、印刷ジョブデータの先頭位置において、コピーガードコマンドCGCM3が存在するかどうかを確認する。コピーガードコマンドCGCM3が存在する場合には、この印刷ジョブデータにコピーガードコードCGCO

3が挿入されていることを示している。

コピーガードコードCGCO3が挿入されていない場合（ステップS92：No）には、通常の印刷ジョブデータであるので、そのまま、この印刷ジョブデータを印刷部54に送信する（ステップS93）。これにより、通常の印刷が実行される。

一方、コピーガードコードCGCO3が挿入されている場合（ステップS92：Yes）には、印刷ジョブデータの先頭にあるコピーガードコードCGCO3からプリンタ特定情報PIを抜き出して、ステップS32（図7参照）で保持したプリンタ解読キーを用いて、プリンタ特定情報PIを解読する（ステップS94）。すなわち、プリンタ特定情報PIを、プリンタ固有のIDと、プリンタ36の管理者がこのプリンタ36に任意に割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーを用いて解読し、このプリンタ特定情報PIからプリンタ識別子を取得する。

次に、プリンタ36は、プリンタ特定情報PIを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致するかどうかを判断する（ステップS95）。プリンタ特定情報PIを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致しない場合や、そもそも解読できない場合（ステップS95：No）には、この印刷ジョブデータは、このプリンタ36のために生成されたデータではないので、この印刷ジョブデータ解読処理を終了する。

プリンタ特定情報PIを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致した場合（ステップS95：Yes）には、インターネット20を介して、コンテンツサーバ44にコンテンツデータ解読キーを要求する（ステップS96）。そして、プリンタ36は、コンテンツサーバ44からコンテンツデータ解読キーを受信したかどうかを判断し（ステップS97）、受信していない場合（ステップS97：No）には、このステップS97の処理を繰り返して、受信するまで待機する。

コンテンツサーバ44からコンテンツデータ解読キーを受信した場合（ステップS97：Yes）には、プリンタ36は、そのコンテンツデータ解読キーを用いて、印刷ジョブデータに含まれているコンテンツデータCDを解読する（ステップS98）。そして、この解読したコンテンツデータCDを、印刷ジョブデー

タとして印刷部 5 4 に送信する（ステップ S 9 9）。これにより、正常な画像データの印刷結果が得られる。

以上のように、本実施形態に係る印刷システム 10 によれば、コンテンツサーバ 44 から送信された画像データの印刷ジョブデータをプリンタ 36 が印刷する際に、プリンタ 36 でのみ 1 回に限り印刷することができるようにしたので、コンテンツデータベース 46 に蓄積された画像データの不正なコピー印刷を防止することができる。

具体的には、プリンタ 3 6 のプリンタ識別子を含むプリンタ特定情報 P I を、コンテンツサーバ 4 4 からプリンタ 3 6 に送信する印刷ジョブデータに含ませた。そして、プリンタ識別子が一致した場合にのみ、プリンタがその印刷ジョブデータを印刷するようにした。このため、プリンタ 3 6 以外の他のプリンタが、この印刷ジョブデータを受信したとしても、印刷できないようにすることができる。

しかも、このプリンタ特定情報 P I は、プリンタ 3 6 の固有の I D と、プリンタ 3 6 の管理者が任意に割り付けた情報とを組み合わせたプリンタ解読キーでしか解読できないようにしてあるので、プリンタ 3 6 以外のプリンタがこの印刷ジョブデータを取得したとしても、プリンタ特定情報 P I を解読することができない。

また、このような不正コピー印刷防止の機構のないプリンタであっても、コンテンツデータCD全体が暗号化されているので、コンテンツサーバ44からコンテンツデータ解読キーを取得しないと、正常な印刷ができない。

また、コンテンツサーバ44から印刷許可を兼ねたコンテンツデータ解読キーは、1度だけプリンタ36に送信することとしたので、プリンタ36で不正に複数枚の画像データのコピー印刷が行われてしまうのを、防止することができる。しかも、プリンタ36では、このコンテンツデータ解読キーの要求は、プリンタ特定情報PIに含まれるプリンタ識別子と、自らのプリンタ識別子とが一致した場合にのみ、コンテンツサーバ44に送信するようにした。このため、コンテンツサーバ44が生成した印刷ジョブデータの送信先と、実際に印刷をするプリンタとが一致した場合にのみ、コンテンツデータ解読キーを要求することができ、且つ、取得することができる。

なお、本実施形態は、上記説明に限定されずに、種々に変形可能である。例えば、上述した実施形態では、プリンタ特定情報P Iを、プリンタ固有のI Dと、プリンタ36に管理者が割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるようにしたが、どちらか一方に基づいて暗号化し、解読できるようにしてもよい。但し、本実施形態のようにプリンタ固有のI Dと、プリンタ36に管理者が割り付けた情報との2つの情報が一致して初めて解読できるようにすることにより、プリンタ特定情報P Iの解読の困難性は向上する。一方、これとは反対に、プリンタ36のプリンタ識別子を暗号化することなく、そのままプリンタ特定情報として、プリンタ36からコンテンツサーバ44に送信するようにしてもよい。これは、プリンタ識別子を暗号化してプリンタ特定情報P Iとせずとも、第三者が不正な意図を持って印刷ジョブデータを操作しなければ、コンテンツサーバ44で特定したプリンタ以外では印刷できないことには変わらないからである。

〔第3実施形態〕

本発明の第3実施形態に係る印刷システムにおいては、上述した第1実施形態において、プリンタ36が補助記憶装置を備えている。本実施形態では、プリンタの備える補助記憶装置にこの印刷ジョブをダウンロードした段階では、印刷ジョブのコピーガードコードを取り除かずに、プリンタがこの補助記憶装置から印刷ジョブを読み出した後に取り除くことにより、補助記憶装置を有するプリンタ36であっても、画像データに関して適切な著作権保護を図れるようにした。より詳しくを、以下に説明する。

まず、図17に基づいて、本実施形態に係る印刷システムの構成を説明する。この図17は、本実施形態に係る印刷システムの構成をブロックで示す概略図であり、上述した第1実施形態の図1に相当する図である。

図17に示すように、本実施形態に係る印刷システム110は、プリンタ36がハードディスク38を備えている点で、上述した第1実施形態と相違する。このハードディスク38は、プリンタ36に内蔵されていてもよいし、外付けで接続されていてもよい。このハードディスク38が本実施形態における補助記憶装置を構成する。プリンタ36がハードディスク38を備えている点以外は、上述した第1実施形態と同様の構成である。

クライアントコンピュータ 34 から送信された印刷ジョブデータは、ローカルエリアネットワーク 30 を介して、プリンタ 36 で受信され、ハードディスク 38 に一旦格納される。そしてプリンタ 36 は、ハードディスク 38 に格納された印刷ジョブデータを順次読み出して、印刷を実行する。

また、インターネット 20 からプロキシサーバ 32 を介して受信された各種データは、クライアントコンピュータ 34 やプリンタ 36 で受信されるようになっている。特に、インターネット 20 からプロキシサーバ 32 を介してプリンタ 36 で受信された印刷ジョブデータは、ハードディスク 38 に一旦格納される。そしてプリンタ 36 は、ハードディスク 38 に格納された印刷ジョブデータを順次読み出して、印刷を実行する。

なお、プリンタ 36 の設定や、印刷ジョブデータの設定によっては、プリンタ 36 は印刷ジョブデータを一旦ハードディスク 38 に格納することなく、そのまま印刷してしまう場合もある。

また、本実施形態に係る印刷ジョブデータの構造は、上述した第 1 実施形態と同様（図 2 参照）であり、コピーガードコード CGCO1、CGCO2 のデータ構造も上述した第 1 実施形態と同様（図 3 A 及び図 3 B 参照）である。

次に、図 18 に基づいて、本実施形態に係る印刷システム 110 における画像データの印刷処理を概略的に説明する。この図 18 は、画像データをプリンタ 36 で印刷する際に、クライアントコンピュータ 34 と、プリンタ 36 と、コンテンツサーバ 44 との間で送受されるデータ及び指令の一例を、順番に説明するためのブロック図である。

図 18 に示すように、ユーザはクライアントコンピュータ 34 からインターネット 20 を介して、コンテンツデータベース 46 にアクセスする。そして、コンテンツデータベース 46 に蓄積されている複数種類の画像データの中から、印刷したい画像データを特定する。コンテンツデータベース 46 からの画像データの読み出しは、読み出し部 45 a で行われる。続いて、ユーザは、（1）その画像データの印刷要求と、印刷先のプリンタとしてプリンタ 36 を指定する情報を、インターネット 20 を介してコンテンツサーバ 44 に送信する。

この画像データの印刷要求と印刷先のプリンタの指定とを受信したコンテンツ

サーバ44は、(2) プリント特定情報要求部45bが、印刷先に指定されているプリンタ36に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報PIを要求する。

このプリンタ特定情報PIの要求を受けたプリンタ36は、暗号化処理部50において、(3) 暗号化したプリンタ特定情報PIを生成する。本実施形態においては、プリンタ36は、プリンタ固有のIDと、プリンタ36の管理者がこのプリンタ36に任意に割り付けた情報とを用いて、プリンタ36を他のプリンタと識別するためのプリンタ識別子を暗号化することにより、プリンタ特定情報PIを生成する。このため、これらプリンタ固有のIDと、プリンタ36に管理者が割り付けた情報とが、プリンタ特定情報PIを解読するプリンタ解読キーとなる。また、本実施形態においては、プリンタ36を他のプリンタと識別するためのプリンタ識別子として、MAC(Media Access Control)アドレスを用いている。MACアドレスは、イーサネットに接続するLANカードに、製造時に割り当てられる固有のアドレスである。続いて、プリンタ36の暗号化処理部50は、(4) この生成したプリンタ特定情報PIを、インターネット20を介して、コンテンツサーバ44に送信する。

プリンタ特定情報PIを受信したコンテンツサーバ44は、印刷ジョブデータ処理部45cにおいて、(5) このプリンタ特定情報PIを用いて、コピーガードコードCGCO1(図3A参照)を生成し、またこれに続くコピーガードコードCGCO2(図3B参照)を生成する。そして、(6) このコピーガードコードCGCO1、CGCO2をコンテンツデータDCの間に適宜挿入して、印刷ジョブデータ(図2参照)を生成する。コピーガードコードCGCO2をコンテンツデータDCに挿入する位置は、印刷ジョブデータの生成の都度、乱数によりランダムに定められる。そして、コンテンツサーバ44の印刷ジョブデータ処理部45cは、(7) 生成した印刷ジョブデータを、インターネット20を介して、プリンタ36に送信する。

送信された印刷ジョブデータは、(8) プリンタ36の受信部51で受信され、一旦、ハードディスク38に格納される。そして、(9) 印刷を行う直前のタイミングでハードディスク38から暗号解読処理部52に読み出される。読み出さ

れた印刷ジョブデータは、暗号解読処理部 5 2 において、(1 0) 印刷ジョブデータの先頭から、コピーガードコード CGCO 1 を抜き取る。続いて、(1 1) このコピーガードコード CGCO 1 からプリンタ特定情報 P I を読み出し、この印刷ジョブデータがプリンタ 3 6 用に生成された印刷ジョブデータであるかどうかを確認する。具体的には、暗号解読処理部 5 2 において、この受信したプリンタ特定情報 P I が、プリンタ固有の I D と、プリンタ 3 6 に管理者が割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるかどうかを確認し、解読できた場合には、解読により得られたプリンタ識別子が、プリンタ 3 6 自身のものであるかどうかを確認する。解読することにより得られたプリンタ識別子がプリンタ 3 6 自身のものであることを示している場合には、(1 2) インターネット 2 0 を介して、コンテンツサーバ 4 4 にコードポインタ解読キーを要求する。一方、解読したプリンタ識別子がプリンタ 3 6 自身のものであることを示していない場合や、そもそも解読ができなかった場合には、コードポインタ解読キーを要求することなく、この印刷処理を終了する。このため、プリンタ 3 6 では、他のプリンタ用の印刷ジョブデータを受信したとしても、それを印刷することはできない。

プリンタ 3 6 から送信されたコードポインタ解読キーの要求は、コンテンツサーバ 4 4 の解読キー処理部 4 5 d で受信される。そして、この解読キー処理部 4 5 d は、インターネット 2 0 を介して、(1 3) プリンタ 3 6 にコードポインタ解読キーを送信する。このコードポインタ解読キーを受信したプリンタ 3 6 は、暗号解読処理部 5 2 において、コピーガードコード CGCO 1 に含まれるコードポインタ C P 1 を抜き取り、コードポインタ解読キーを用いて解読する。この解読により、2 番目のコピーガードコード CGCO 2 の位置が得られる。そして、コピーガードコード CGCO 1 を印刷ジョブデータから抜き取って、印刷部 5 4 に送信する。また、2 番目以降のコピーガードコード CGCO 2 も、その前のコピーガードコード CGCO 2 に含まれるコードポインタ C P 2 の位置情報に基づいて、順次、抜き取った上で、印刷部 5 4 に送信する。これにより、(1 4) 印刷部 5 4 で印刷が正常に実行される。

以上、本実施形態に係る印刷システム 1 1 0 における印刷処理を概略的に説明したが、次に、コンテンツサーバ 4 4 及びプリンタ 3 6 の個別の処理を詳しく説

明する。但し、本実施形態における印刷ジョブデータ生成処理（図５及び図６）、プリンタ特定情報回答処理（図７）、及び、印刷ジョブデータ送信処理（図８）については、上述した第１実施形態と同様の処理であるので、詳しい説明は割愛する。

次に、図１９及び図２０に基づいて、プリンタ３６における印刷ジョブデータ解読処理について説明する。これら図１９及び図２０は、上記図７に示したプリンタ特定情報回答処理を終了したプリンタ３６が実行する印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャートである。つまり、図７のステップＳ３２でプリンタ解読キーを保持した後に、プリンタ３６で実行される処理である。

まず、図１９に示すように、プリンタ３６は、コンテンツサーバ４４から印刷ジョブデータを受信したかどうかを判断する（ステップＳ４８）。印刷ジョブデータを受信していない場合（ステップＳ４８：Ｎｏ）には、このステップＳ４８の処理を繰り返して待機する。

一方、コンテンツサーバ４４から印刷ジョブデータを受信した場合（ステップＳ４８：Ｙｅｓ）には、プリンタ３６は、この受信した印刷ジョブデータをハードディスク３８に一旦格納する（ステップＳ４９）。そして、プリンタ３６は、任意のタイミングでハードディスク３８に格納した印刷ジョブデータを読み出す（ステップＳ５０）。任意のタイミングとは、例えば、前の印刷ジョブデータのプリンタエンジンにおける印刷が終了し、次の印刷ジョブデータをプリンタエンジンで印刷しようとする場合である。

次に、プリンタ３６は、印刷ジョブデータにコピーガードコードＣＧＣＯ１が挿入されているかどうかを確認する（ステップＳ５１）。具体的には、プリンタ３６は、印刷ジョブデータの先頭位置において、コピーガードコマンドＣＧＣＭ１が存在するかどうかを確認する。コピーガードコマンドＣＧＣＭ１が存在する場合には、この印刷ジョブデータにコピーガードコードＣＧＣＯ１、ＣＧＣＯ２が挿入されていることを示している。

コピーガードコードＣＧＣＯ１が挿入されていない場合（ステップＳ５２：Ｎｏ）には、通常の印刷ジョブデータであるので、そのまま、この印刷ジョブデータを印刷部５４に送信する（ステップＳ５３）。これにより、通常の印刷が実行

される。

一方、コピーガードコードCGCO1が挿入されている場合（ステップS52：Yes）には、印刷ジョブデータの先頭にあるコピーガードコードCGCO1からプリンタ特定情報PIを抜き出して、ステップS32（図7参照）で保持したプリンタ解読キーを用いて、プリンタ特定情報PIを解読する（ステップS54）。すなわち、プリンタ特定情報PIを、プリンタ固有のIDと、プリンタ36の管理者がこのプリンタ36に任意に割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーを用いて解読し、このプリンタ特定情報PIからプリンタ識別子を取得する。

次に、プリンタ 36 は、プリンタ特定情報 P I を解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致するかどうかを判断する（ステップ S 55）。プリンタ特定情報 P I を解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致しない場合や、そもそも解読できない場合（ステップ S 55：No）には、この印刷ジョブデータは、このプリンタ 36 のために生成されたデータではないので、この印刷ジョブデータ解読処理を終了する。

一方、プリンタ特定情報P Iを解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致した場合（ステップS 5 5：Y e s）には、図2 0に示すように、インターネット2 0を介して、コンテンツサーバ4 4にコードポイント解読キーを要求する（ステップS 5 6）。そして、プリンタ3 6は、コンテンツサーバ4 4からコードポイント解読キーを受信したかどうかを判断し（ステップS 5 7）、受信していない場合（ステップS 5 7：N o）には、このステップS 5 7の処理を繰り返して、受信するまで待機する。

コンテンツサーバ44からコードポインタ解読キーを受信した場合（ステップS57：Yes）には、プリンタ36は、そのコードポインタ解読キーを用いて、印刷ジョブデータの先頭に位置するコピーガードコードCGCO1のコードポインタCP1を解読する（ステップS58）。これにより、2番目のコピーガードコードCGCO2の位置が判明する。

次に、プリンタ 3 6 は、印刷ジョブデータの先頭からコピーガードコード C G C O 1 を取り除いて、2 番目のコピーガードコード C G C O 2 の位置（コードポインタ C P 1 で指し示される位置）の前までの印刷ジョブデータを印刷部 5 4 に

コードポインタCP1の位置に、印刷ジョブデータがまだ存在する場合（ステップS60：Yes）には、このコードポインタCP1により指し示される位置から、コピーガードコードCGCO2を読み出して、そのコードポインタCP2を取得する（ステップS61）。

次に、プリンタ 36 は、ステップ S61 で読み出したコピーガードコード CGCO2 を取り除いて、そのコードポイント CP2 の位置の前までの印刷ジョブデータを印刷部 54 に送信する（ステップ S62）。そして、上述したステップ S60 に戻る。

以降、上述したステップS 6 0～ステップS 6 2の処理を繰り返す。但し、2回目以降のループにおいては、ステップS 6 0においては、前回のステップS 6 1で取得したコードポインタCP 2の位置に、印刷ジョブデータが存在するかどうかを判断する。また、ステップS 6 1においては、前回のステップ6 1で取得したコードポインタCP 2の位置から、さらにその次のコピーガードコードCGCO 2のコードポインタCP 2を取得する。続いて、ステップS 6 2においては、前々回のステップS 6 1で取得したコードポインタCP 2の位置から、コピーガードコードCGCO 2を取り除いて、印刷部5 4に送信する（ステップS 6 2）。

以上のように、本実施形態に係る印刷システム１１０によれば、プリンタ３６が備えるハードディスク３８に、印刷ジョブデータを格納する段階ではコピーガードコードＣＧＣＯ１、ＣＧＣＯ２を取り除かずに、プリンタ３６が印刷する直前にハードディスク３８から印刷ジョブデータを読み出した後にコピーガードコードＣＧＣＯ１、ＣＧＣＯ２を取り除くこととした。このため、不正な意図を持つユーザが、ハードディスク３８から印刷ジョブデータを不正な手段で読み出したとしても、この印刷ジョブデータから正常な印刷を行うことができない。また、

コンテンツサーバ44からコードポイント解読キーが送信されるのは一度だけであるので、このハードディスク38から印刷ジョブデータを何度も読み出して印刷をすることもできない。

なお、本実施形態は、上記説明に限定されずに、上述した第1実施形態と同様の種々の変形が可能であることは言うまでもない。

〔第4実施形態〕

本発明の第4実施形態は、上述した第3実施形態に第2実施形態を組み合わせることにより、補助記憶装置を備えたプリンタであっても、画像データに関して適切な著作権保護を図れるようにしたものである。より詳しくを、以下に説明する。

なお、本実施形態に係る印刷システム１１０の構成は、上述した第３実施形態の図１７と同様であるので、その詳しい説明は省略する。一方、印刷ジョブデータの構造及びコピーガードコードＣＧＣＯ３の構造は、上述した第２実施形態と同様であるので、その詳しい説明は省略する。

まず、図 2 1 に基づいて、本実施形態に係る印刷システム 1 1 0 における画像データの印刷処理を概略的に説明する。この図 2 1 は、画像データをプリンタ 3 6 で印刷する際に、クライアントコンピュータ 3 4 と、プリンタ 3 6 と、コンテンツサーバ 4 4 との間で送受されるデータ及び指令の一例を、順番に説明するためのブロック図であり、上述した第 3 実施形態における図 1 8 に相当する図である。

この図 2 1 においては、(4) の処理までは、上述した第 3 実施形態と同様の処理である。すなわち、ユーザはクライアントコンピュータ 3 4 からインターネット 2 0 を介して、コンテンツデータベース 4 6 をアクセスする。そして、コンテンツデータベース 4 6 に蓄積されている複数種類の画像データの中から、印刷したい画像データを特定する。コンテンツデータベース 4 6 からの画像データの読み出しは、読み出し部 4 5 a で行われる。続いて、ユーザは、(1) その画像データの印刷要求と、印刷先のプリンタとしてプリンタ 3 6 を指定する情報を、インターネット 2 0 を介してコンテンツサーバ 4 4 に送信する。

この画像データの印刷要求と印刷先のプリンタの指定とを受信したコンテンツ

サーバ44は、(2)プリンタ特定情報要求部45bが、印刷先に指定されているプリンタ36に対して、プリンタを特定するためのプリンタ特定情報PIを要求する。

このプリンタ特定情報 P I の要求を受けたプリンタ 3 6 は、暗号化処理部 5 0 において、（３）プリンタ識別子を暗号化したプリンタ特定情報 P I を生成する。続いて、プリンタ 3 6 の暗号化処理部 5 0 は、（４）この生成したプリンタ特定情報 P I を、インターネット 2 0 を介して、コンテンツサーバ 4 4 に送信する。

次の（５）以降の処理は、上述した第３実施形態と異なる。すなわち、プリンタ特定情報 P I を受信したコンテンツサーバ ４４は、印刷ジョブデータ処理部 ４５ c において、（５）このプリンタ特定情報 P I を用いて、コピーガードコード C G C O ３（図 １２ 参照）を生成するとともに、画像データであるコンテンツデータ C D 全体を暗号化する。そして、（６）このコピーガードコード C G C O ３を、暗号化したコンテンツデータ D C の先頭に挿入して、印刷ジョブデータ（図 １１ 参照）を生成する。続いて、コンテンツサーバ ４４の印刷ジョブデータ処理部 ４５ c は、（７）生成した印刷ジョブデータを、インターネット ２０を介して、プリンタ ３６に送信する。

送信された印刷ジョブデータは、（８）プリンタ３６の受信部５１で受信され、ハードディスク３８に一旦格納される。そして、（９）印刷を行う直前のタイミングでハードディスク３８から暗号解読処理部５２に読み出される。読み出された印刷ジョブデータは、暗号解読処理部５２において、（１０）印刷ジョブデータの先頭から、コピーガードコードＣＧＣＯ１を抜き取る。続いて、（１１）このコピーガードコードＣＧＣＯ３からプリンタ特定情報ＰＩを読み出し、この印刷ジョブデータがプリンタ３６用に生成された印刷ジョブデータであるかどうかを確認する。具体的には、暗号解読処理部５２において、この受信したプリンタ特定情報ＰＩが、プリンタ固有のＩＤと、プリンタ３６に管理者が任意割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーで解読できるかどうかを確認し、解読できた場合には、解読して得られたプリンタ識別子が、プリンタ３６自身のものであるかどうかを確認する。解読したプリンタ識別子がプリンタ３６自身のものであることを示している場合には、（１２）インターネット２０を介して、コンテンツ

サーバ 44 にコンテンツデータ解読キーを要求する。一方、解読したプリンタ識別子がプリンタ 36 自身のものであることを示していない場合や、そもそも解読できない場合には、コンテンツデータ解読キーを要求することなく、この印刷処理を終了する。このため、プリンタ 36 では、他のプリンタ用の印刷ジョブデータを受信したとしても、それを印刷することはできない。

プリンタ 3 6 から送信されたコードポインタ解読キーの要求は、コンテンツサーバ 4 4 の解読キー処理部 4 5 d で受信される。そして、この解読キー処理部 4 5 d は、インターネット 2 0 を介して、(1 3) プリンタ 3 6 にコンテンツデータ解読キーを送信する。このコンテンツデータ解読キーを受信したプリンタ 3 6 は、暗号解読処理部 5 2 において、暗号化されたコンテンツデータ C D をコンテンツデータ解読キーを用いて解読する。そして、解読したコンテンツデータ C D を、印刷部 5 4 に送信する。これにより、(1 4) 印刷部 5 4 で印刷が正常に実行される。

以上、本実施形態に係る印刷システム 110 における印刷処理を概略的に説明したが、次に、コンテンツサーバ 44 及びプリンタ 36 の個別の処理を詳しく説明する。但し、本実施形態における印刷ジョブデータ生成処理（図 14）、及び、印刷ジョブデータ送信処理（図 15）は、上述した第 2 実施形態と同様であるので、その詳しい説明は割愛する。

図 2 2 に基づいて、プリンタ 3 6 における印刷ジョブデータ解読処理について説明する。この図 2 2 は、上述した図 7 のプリンタ特定情報回答処理を終了したプリンタ 3 6 が実行する印刷ジョブデータ解読処理を説明するフローチャートである。つまり、本実施形態においても、印刷ジョブデータ解読処理は、図 7 のステップ S 3 2 でプリンタ解読キーを保持した後に実行される。

まず、図 2 2 に示すように、プリンタ 3 6 は、コンテンツサーバ 4 4 から印刷ジョブデータを受信したかどうかを判断する（ステップ S 8 8）。印刷ジョブデータを受信していない場合（ステップ S 8 8：No）には、このステップ S 8 8 の処理を繰り返して待機する。

一方、コンテンツサーバ44から印刷ジョブデータを受信した場合（ステップS88：Yes）には、プリンタ36は、この受信した印刷ジョブデータをハー

ドディスク 38 に一旦格納する（ステップ S 89）。そして、プリンタ 36 は、任意のタイミングでハードディスク 38 に格納した印刷ジョブデータを読み出す（ステップ S 90）。任意のタイミングとは、例えば、前の印刷ジョブデータのプリンタエンジンにおける印刷が終了し、次の印刷ジョブデータをプリンタエンジンで印刷しようとする場合である。

次に、プリンタ 36 は、印刷ジョブデータにコピーガードコード CGCO3 が挿入されているかどうかを確認する（ステップ S 91）。具体的には、プリンタ 36 は、印刷ジョブデータの先頭位置において、コピーガードコマンド CGCM3 が存在するかどうかを確認する。コピーガードコマンド CGCM3 が存在する場合には、この印刷ジョブデータにコピーガードコード CGCO3 が挿入されていることを示している。

コピーガードコード CGCO3 が挿入されていない場合（ステップ S 92 : No）には、通常の印刷ジョブデータであるので、そのまま、この印刷ジョブデータを印刷部 54 に送信する（ステップ S 93）。これにより、通常の印刷が実行される。

一方、コピーガードコード CGCO3 が挿入されている場合（ステップ S 92 : Yes）には、印刷ジョブデータの先頭にあるコピーガードコード CGCO3 からプリンタ特定情報 P I を抜き出して、ステップ S 32（図 7 参照）で保持したプリンタ解読キーを用いて、プリンタ特定情報 P I を解読する（ステップ S 94）。すなわち、プリンタ特定情報 P I を、プリンタ固有の ID と、プリンタ 36 の管理者がこのプリンタ 36 に任意に割り付けた情報とからなるプリンタ解読キーを用いて解読し、このプリンタ特定情報 P I からプリンタ識別子を取得する。

次に、プリンタ 36 は、プリンタ特定情報 P I を解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致するかどうかを判断する（ステップ S 95）。プリンタ特定情報 P I を解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ識別子とが、一致しない場合や、そもそも解読できない場合（ステップ S 95 : No）には、この印刷ジョブデータは、このプリンタ 36 のために生成されたデータではないので、この印刷ジョブデータ解読処理を終了する。

プリンタ特定情報 P I を解読して取得したプリンタ識別子と、自己のプリンタ

識別子とが、一致した場合（ステップS 9 5：Y e s）には、インターネット 2 0 を介して、コンテンツサーバ 4 4 にコンテンツデータ解読キーを要求する（ステップS 9 6）。そして、プリンタ 3 6 は、コンテンツサーバ 4 4 からコンテンツデータ解読キーを受信したかどうかを判断し（ステップS 9 7）、受信していない場合（ステップS 9 7：N o）には、このステップS 9 7 の処理を繰り返して、受信するまで待機する。

コンテンツサーバ 4 4 からコンテンツデータ解読キーを受信した場合（ステップS 9 7：Y e s）には、プリンタ 3 6 は、そのコンテンツデータ解読キーを用いて、印刷ジョブデータに含まれているコンテンツデータ C D を解読する（ステップS 9 8）。そして、この解読したコンテンツデータ C D を、印刷ジョブデータとして印刷部 5 4 に送信する（ステップS 9 9）。これにより、正常な画像データの印刷結果が得られる。

以上のように、本実施形態に係る印刷システム 1 1 0 によれば、プリンタ 3 6 が備えるハードディスク 3 8 に、印刷ジョブデータを格納する段階ではコピーガードコード C G C O 3 を取り除いたり、コンテンツデータ C D を解読したりせず、そのまま格納することとした。そして、プリンタ 3 6 が印刷する直前にハードディスク 3 8 から印刷ジョブデータを読み出した後に、コピーガードコード C G C O 3 を取り除いて、コンテンツデータ C D を解読することとした。このため、不正な意図を持つユーザが、ハードディスク 3 8 から印刷ジョブデータを不正な手段で読み出したとしても、この印刷ジョブデータから正常な印刷を行うことができない。また、コンテンツサーバ 4 4 からコンテンツデータ解読キーが送信されるのは一度だけであるので、このハードディスク 3 8 から印刷ジョブデータを何度も読み出して印刷をすることもできない。

なお、本実施形態は、上記説明に限定されずに、上述した第 2 実施形態と同様の種々の変形が可能であることは言うまでもない。

さらに加えて、本発明は、上述した第 1 乃至第 4 実施形態に限定されずに、種々に変形可能である。例えば、上述した第 1 乃至第 4 実施形態では、正当なプリンタ 3 6 で 1 回だけコンテンツデータ C D の印刷ができるようにしたが、2 枚、3 枚等の複数枚の印刷ができるようにしてもよい。これは、例えば、コンテンツ

サーバ４４からプリンタ３６に、コードポインタ解読キー又はコンテンツデータ解読キーを複数回送信するようにすればよい。このようにすれば、プリンタ３６では、このコードポインタ解読キー又はコンテンツデータ解読キーを受信した回数だけ、コンテンツデータＣＤの印刷ができるようになる。また、コンテンツサーバ４４からプリンタ３６に、コードポインタ解読キー又はコンテンツデータ解読キーを送信する際に、印刷可能枚数についての情報を含ませておくようにしてもよい。

また、上述した第１乃至第４実施形態においては、それぞれ、コードポインタ解読キーやコンテンツデータ解読キーを、コンテンツサーバ４４で保持し、プリンタ３６からの要求に基づいて、これらコードポインタ解読キー及びコンテンツデータ解読キーをプリンタ３６へ送信することとしたが、これらコードポインタ解読キーやコンテンツデータ解読キーは、必ずしもコンテンツサーバ４４で保持する必要はない。例えば、コンテンツサーバ４４とプリンタ３６との間で、予め、これらコードポインタ解読キーやコンテンツデータ解読キーについて取り決めをしておき、コンテンツサーバ４４からコードポインタ解読キーやコンテンツデータ解読キーを取得しなくとも、プリンタ３６で印刷ジョブデータを解読できるようにしておいてもよい。

また、コンテンツデータＣＤに対する不正コピーを防止するプロテクトの手法は、上述した第１乃至第４実施形態に限るものではなく、他の手法でプロテクトを施すようにしてもよい。この場合、プリンタ３６は、ハードディスク３８から印刷ジョブデータを読み出した後に、そのプロテクトを解除するプロテクト解除キーを、コンテンツサーバ４４から取得することになる。

さらに、上述した第１乃至第４実施形態においては、コンテンツデータＣＤが写真等の静止画像データであり、これをプリンタ３６で印刷する場合を例に説明したが、本発明はこれら条件に限定されるものではない。例えば、コンテンツデータＣＤは、動画データ、音楽データ、音声データ等でもよく、その再現装置としては、テレビ、音楽／音声再生プレイヤー等でもよい。

また、上述した第１乃至第４実施形態で説明した各処理については、これら各処理を実行するためのプログラムをフロッピーディスク、ＣＤ－ＲＯＭ（Compac

t Disc-Read Only Memory)、ROM、メモリカード等の記録媒体に記録して、記録媒体の形で頒布することが可能である。この場合、このプログラムが記録された記録媒体をクライアントコンピュータ34やプリンタ36、コンテンツサーバ44に読み込ませ、実行させることにより、上述した実施形態を実現することができる。

また、クライアントコンピュータ 3 4 やプリンタ 3 6、コンテンツサーバ 4 4 は、オペレーティングシステムや別のアプリケーションプログラム等の他のプログラムを備える場合がある。この場合、クライアントコンピュータ 3 4 やプリンタ 3 6、コンテンツサーバ 4 4 の備える他のプログラムを活用し、記録媒体にはこれらクライアントコンピュータ 3 4 やプリンタ 3 6、コンテンツサーバ 4 4 が備えるプログラムの中から、本実施形態と同等の処理を実現するプログラムを呼び出すような命令を記録するようにしてもよい。

さらに、このようなプログラムは、記録媒体の形ではなく、ネットワーク（例えば、インターネット 20）を通じて搬送波として頒布することも可能である。ネットワーク上を搬送波の形で伝送されたプログラムは、クライアントコンピュータ 34 やプリンタ 36、コンテンツサーバ 44 に取り込まれて、このプログラムを実行することにより上述した実施形態を実現することができる。

また、記録媒体にプログラムを記録する際や、ネットワーク上を搬送波として伝送される際に、プログラムの暗号化や圧縮化がなされている場合がある。この場合には、これら記録媒体や搬送波からプログラムを読み込んだクライアントコンピュータ 3 4 やプリンタ 3 6、コンテンツサーバ 4 4 は、そのプログラムの復号化や伸張化を行った上で、実行する必要がある。